

化学・非鉄金属業種の進捗状況の概要(2008～2012年度5ヵ年の実績)

資料3-2

	目標指標	基準年度	目標水準	2008～2012年度 5ヶ年平均実績 (基準年度比)	(参考1) 目標達成率	(参考2) 連続目標達成期間	(参考3) 目標の引き上げ	電力係数を固定 した場合の実績 (基準年度比)	今後予定している クレジット等による 補填措置	「低炭素社会実行計画」 (2013年度以降の取組) 策定状況
日本化学工業協会	エネルギー原単位	1990年度	▲20% (▲13%)*	▲15%	75% (115.4%)*	— (2009～2012年度)*	2007年度 ▲10%→▲20% (▲13%)*	—	—	▲150万トン (BAU CO2排出量)
石灰製造工業会	エネルギー消費量	1990年度	▲10%	▲28.2%	282.0%	2010～2012年度	2007年度 ▲6%→▲8% 2010年度 ▲8%→▲10%	—	—	▲15万トン (BAU CO2排出量)
	CO2排出量	1990年度	▲10%	▲30.1%	309.0%	2010～2012年度	2010年度 ▲8%→▲10%	▲32%		
日本ゴム工業会	CO2排出量**	1990年度	▲10%	▲12.6%	126.4%	2012年度	2007年度 ▲0%→▲6% 2010年度 ▲6%→▲10%	▲30%	—	2005年度比▲15% (CO2排出源単位)
日本アルミニウム協会	エネルギー原単位	1995年度	▲11%	▲13.0%	117.4%	2008～2012年度	2007年度 ▲10%→▲11%	—	—	2013年度内に策定予定
日本電線工業会	【メタル(銅・アルミ)電線】 エネルギー消費量	1990年度	▲29%	▲38%	130.5%	2010～2012年度	2010年度 ▲27%→▲29%	—	—	1990年度比▲32% (エネルギー消費量)
	【光ファイバーケーブル】 エネルギー原単位	1990年度	▲78%	▲79.5%	101.1%	2008～2012年度	2008年度 ▲77%→▲78%	—		1990年度比▲79% (エネルギー原単位)
日本伸銅協会	エネルギー原単位	1995年度	▲9.05%	+0.81%	-10.0%	—	2006年度 ▲8.6%→▲9.05%	—	—	2013年度内に策定予定

(注1)電力のクレジット等調整後排出係数と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。**日本ゴム工業会は実排出係数に基づき算定。

(注2)着色している業種は、2008～2012年度の5年間の平均値で目標を達成している業種(電力係数を固定した場合の実績で達成している業種、クレジット等による補填を予定している業種を含む)。

(注3)(参考1)は、目標を過不足なく達成している場合を100%として、目標水準に対する達成度合いを示したもの。

(注4)(参考2)は、2012年度に目標を達成している業種のうち、2008～2012年度の直近で現行目標水準を連続達成している期間。

(注5)(参考3)は、これまで目標を変更した年度及びその水準。

(注6)「電力係数を固定した場合の実績」は、2008～2012年度の電力排出係数を「電気事業連合会が目標を達成した場合」に固定した場合の基準年度実績からの削減率。CO2関連目標(CO2排出量、CO2原単位)の業種のみ記載。

(注7)「今後予定しているクレジット等による補填措置」は、今後目標達成のために予定しているクレジット等の活用についてを記載。

*日本化学工業協会の目標水準は、次の[]の記載内容の条件付きでの目標水準を▲20%とした。[ただし、今後エネルギー原単位に関する外的悪化要因が顕在化した場合には、87%程度になり得る。]